



2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月11日

上場会社名 ネオス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3627 URL <http://www.neoscorp.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 昌史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 黒尾 哲雄 TEL (03)5209-1590
 四半期報告書提出予定日 2019年10月11日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績 (2019年3月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	4,866	44.7	246	26.2	256	31.1	158	△27.5
2019年2月期第2四半期	3,362	34.9	195	-	195	-	218	-

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 132百万円 (△47.0%) 2019年2月期第2四半期 250百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	14.00	13.94
2019年2月期第2四半期	23.09	23.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	7,110	4,425	61.8	382.53
2019年2月期	5,051	3,364	66.3	319.39

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 4,392百万円 2019年2月期 3,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	-	0.00	-	2.00	2.00
2020年2月期	-	0.00	-	-	-
2020年2月期 (予想)	-	-	-	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年2月期の連結業績予想 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	8,902～10,000	0.0～12.3	504～800	0.0～58.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

現在、モバイル、インターネット業界は、非常に速いスピードで構造変化が進行しつつあり、短期的な業績動向については変動要素が多いため、当社では、年間ベースでの業績管理に重点をおいた経営管理を強化しています。これらを踏まえ、現在、当社グループの業績予想については、連結業績に関する年間業績の開示のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期2Q	11,483,500株	2019年2月期	10,483,500株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	22株	2019年2月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期2Q	11,326,451株	2019年2月期2Q	9,470,133株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自2019年3月1日至2019年8月31日）における日本経済は、4月～6月期のGDPが0.3%増（年率1.3%増）と3期連続でプラス成長を維持したものの、米中の貿易摩擦の長期化や10月1日からの消費税増税などを背景に、日銀短観（全国企業短期経済観測調査）では、企業の景況感悪化を予想する見方が増えております。

このようななか、キャッシュレス化促進や幼児教育無償化などの政府の対策事業がスタートしており、これらの流れは、当社が展開しているフィンテックサービスやEdTech（Education Technology）事業に対してプラスの方向で働いていくものと見られます。また、IoT（Internet of Things）化の流れは力強いものがあり、通信を活用した新しいIoTデバイス、IoTサービスは今後ますます本格化していくことが予想されます。コンシューマ向けIoTデバイスとして代表的な地位を獲得した音声通訳機において9割強のシェアをもつソースネクスト株式会社（以下、ソースネクスト）の「POCKETALK」シリーズは、発売以来累計50万台を突破し、市場を牽引しております。

これらの流れを受け、当社グループでは「POCKETALK（ポケトーク）W」の製造事業が堅調に推移するとともに、従来から提供しているJapanTaxi株式会社（以下、JapanTaxi）向けの「決済機付き車載サイネージタブレット」に加え、新たに設計、試作から量産まで手掛けている株式会社ビットキーのスマートロックデバイス「bitlock LITE（ビットロックライト）」など、IoTデバイスの事業が順調に拡大しています。また、今期においてはキッズコンテンツ事業拡大の一環として、Nintendo Switch向けソフト市場に参入を行い、その第一弾として、7月に『ぶるきゅらフレンズ ほっぺちゃんとサンリオキャラクターズ』を発売いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は4,866,908千円（前年同期比44.7%増）、営業利益は246,666千円（前年同期比26.2%増）、経常利益は256,763千円（前年同期比31.1%増）、純利益は158,543千円（前年同期比27.5%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間に実施した組織改編により、ソリューション事業の一部をコンテンツ事業へ移管しており、以下の前年同四半期比については、移管後の区分に組み替えた数値で比較しております。

事業別の詳細については以下の通りです。

<ソリューション事業>

当第2四半期連結累計期間におけるソリューション事業の売上高は、1,773,789千円（前年同期比10.6%減）となりました。

ソリューション事業の軸であるSI（System Integration）事業については、収益性等さまざまな観点から案件の絞り込みを行うとともに、品質向上、技術力強化に向けた足許の基盤拡充に取り組んでいます。今期においては、4月にベトナムオフショア拠点の資本増強、リソース拡大に続き、7月には国内開発拠点として展開している札幌オフィスにおいて、分散していたオフィスを統合・拡張、開発機材の刷新やセキュリティ強化を図り、「Neos Sapporo Developers Park」を開発いたしました。また、自社のプロダクト・サービス事業の強化については、チャットボットやキャッシュレス決済サービスの拡張に引き続き取り組んでいます。今期においては、株式会社アイデア・レコードと共同で飲食店向け予約管理システムを連携した『飲食店予約自動化Chat bot』を開発いたしました。

<コンテンツ事業>

当第2四半期連結累計期間におけるコンテンツ事業の売上高は、600,136千円（前年同期比1.1%減）となりました。

政府では、幼児教育の無償化に加え、小学校でのプログラミング教育や英語教育の必修化、タブレットや電子黒板などの活用拡大を推進しており、今後、教育のICT化の流れが、より広がっていくものと予想されます。これに対応して、コンテンツ事業においては、知育アプリ『クレヨンしんちゃん お手伝い大作戦』など、未就学児から小学校低学年をターゲットにした家庭での知育ソフトの展開と並行して、教育出版社等を対象にした教育コンテンツのデジタル化プロデュース事業にも取り組んでいます。また、今期においては、キッズ事業拡大の一環として、Nintendo Switch向けソフト事業を開始いたしました。第一弾として、株式会社サンリオ、株式会社サン宝石と提携し『ぶるきゅらフレンズ ほっぺちゃんとサンリオキャラクターズ』を7月に発売いたしました。

<デバイス事業>

当第2四半期連結累計期間におけるデバイス事業の売上高は、2,492,982千円（前年同期比222.9%増）となりました。

デバイス事業においてはIoT事業の拡大に注力しています。コンシューマ向けIoTデバイスの代表製品となった音声通訳機市場では、ソースネクストの「POCKETALK（ポケトーク）シリーズ」が圧倒的なシェアを維持し、2017年7月の発売以来、シリーズ累計で50万台を突破しました。これを受け当社の製造事業も堅調に推移しております。また、IoT市場の本格化の流れを受け、新たなIoT案件も拡大しており、株式会社ビットキーのスマートフォンなどにより扉

などの鍵を操作できるスマートロックデバイス「bitlock LITE」や、アトムフ株式会社の“世界中の景色とつながる、窓型スマートディスプレイ”スマートウィンドウ「Atmoph Window 2」など、新たなデバイスの受注、製造を開始しております。また、従来から製造を手掛けているJapanTaxi向けの「決済機付き車載サイネージタブレット」も、e-TAXI化の流れに沿って好調に推移しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,155,245	3,849,241
受取手形及び売掛金	1,129,535	1,216,381
商品	68,997	14,363
仕掛品	41,803	41,789
前渡金	752,559	1,065,775
短期貸付金	3,000	—
その他	110,428	94,029
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	4,261,564	6,281,574
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	55,027	83,649
器具備品(純額)	22,715	33,133
建設仮勘定	1,544	1,544
有形固定資産合計	79,287	118,327
無形固定資産		
ソフトウェア	102,396	147,330
ソフトウェア仮勘定	80,514	66,490
のれん	141,687	124,338
その他	9,925	8,219
無形固定資産合計	334,524	346,377
投資その他の資産		
投資有価証券	192,817	148,212
関係会社出資金	26,854	26,621
差入保証金	157,142	189,324
その他	36,153	37,313
貸倒引当金	△37,131	△37,131
投資その他の資産合計	375,836	364,339
固定資産合計	789,648	829,044
資産合計	5,051,212	7,110,619

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	224,447	256,206
短期借入金	93,698	491,781
1年内返済予定の長期借入金	262,944	323,492
未払法人税等	49,091	95,656
前受金	253,074	798,666
賞与引当金	200,146	105,018
工事損失引当金	10,643	—
製品保証引当金	21,245	1,047
その他	214,809	229,885
流動負債合計	1,330,100	2,301,753
固定負債		
長期借入金	292,197	335,758
繰延税金負債	23,182	9,351
資産除去債務	35,653	32,712
その他	5,417	5,499
固定負債合計	356,449	383,321
負債合計	1,686,550	2,685,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,908,652	2,376,544
資本剰余金	969,784	1,440,163
利益剰余金	423,646	561,223
自己株式	—	△21
株主資本合計	3,302,083	4,377,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,013	17,066
繰延ヘッジ損益	△2,491	506
為替換算調整勘定	768	△2,740
その他の包括利益累計額合計	46,290	14,832
新株予約権	8,096	12,618
非支配株主持分	8,192	20,182
純資産合計	3,364,662	4,425,543
負債純資産合計	5,051,212	7,110,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	3,362,319	4,866,908
売上原価	2,456,872	3,717,941
売上総利益	905,447	1,148,967
販売費及び一般管理費	710,043	902,300
営業利益	195,403	246,666
営業外収益		
為替差益	22,513	18,768
その他	1,480	1,629
営業外収益合計	23,993	20,397
営業外費用		
支払利息	2,626	6,730
その他	20,962	3,571
営業外費用合計	23,589	10,301
経常利益	195,808	256,763
特別利益		
新株予約権戻入益	21,370	239
段階取得に係る差益	6,175	—
特別利益合計	27,545	239
特別損失		
事務所移転費用	1,048	10,091
特別損失合計	1,048	10,091
税金等調整前四半期純利益	222,305	246,911
法人税、住民税及び事業税	3,958	82,702
法人税等調整額	△354	△172
法人税等合計	3,604	82,530
四半期純利益	218,701	164,380
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	5,837
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,701	158,543

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	218,701	164,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,767	△30,946
繰延ヘッジ損益	20,389	2,998
為替換算調整勘定	△171	△3,509
その他の包括利益合計	31,985	△31,457
四半期包括利益	250,686	132,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	250,686	127,091
非支配株主に係る四半期包括利益	—	5,831

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	222,305	246,911
減価償却費	62,375	52,989
のれん償却額	14,457	17,349
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△90,619	△95,128
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△24,114	△10,643
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	—	△20,198
有形固定資産除却損	371	3,754
持分法による投資損益 (△は益)	17,500	232
新株予約権戻入益	△21,370	△239
段階取得に係る差損益 (△は益)	△6,175	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△125,921	△86,845
たな卸資産の増減額 (△は増加)	85,589	54,597
仕入債務の増減額 (△は減少)	△54,570	31,759
前受金の増減額 (△は減少)	108,866	545,591
前渡金の増減額 (△は増加)	△474,815	△313,215
その他	△459,502	16,178
小計	△745,623	443,094
利息及び配当金の受取額	334	638
利息の支払額	△2,492	△6,673
法人税等の支払額	△3,587	△38,424
法人税等の還付額	3,142	1,359
営業活動によるキャッシュ・フロー	△748,226	399,993
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,520	△53,770
無形固定資産の取得による支出	△37,225	△73,009
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	670,230	—
貸付金の回収による収入	—	3,000
差入保証金の差入による支出	△867	△42,544
差入保証金の回収による収入	21,606	6,867
その他	1,992	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	653,216	△159,456
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	484,379
短期借入金の返済による支出	—	△93,698
長期借入れによる収入	—	310,000
長期借入金の返済による支出	△257,148	△205,891
株式の発行による収入	7	935,784
自己株式の取得による支出	—	△21
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3,975	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	8,645
リース債務の返済による支出	△1,602	△1,602
配当金の支払額	—	△20,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△212,718	1,416,946
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,881	36,512
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△285,846	1,693,995
現金及び現金同等物の期首残高	1,878,598	2,155,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,592,752	3,849,241

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株の発行

当社は、当第2四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付第23回新株予約権(第三者割当)の全てについて権利行使があったことに伴う新株の発行により、資本金467,892千円、資本準備金467,892千円がそれぞれ増加しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自2018年3月1日至2018年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。